

<p>第21号 2004年 11月 1日 (平成16年) 我孫子市民図書館発行 〒270-1147 我孫子市若松26-4</p>	<h1>図書館 だより</h1>	<p>市民図書館 TEL7184-1110 湖北台分館・移動図書館 TEL7187-3055 布佐分館 TEL7189-1311</p>
--	----------------------	--



## 読書講演会「ファンタジーの魅力～

### 守り人シリーズを描くまで」を開催

講師に、**上橋 菜穂子氏**をお迎えして！！

平成16年10月2日（土）生涯学習センターアピスタのミニホールで開催された講演会には、市内・近隣市などから、43名の参加がありました。下は13歳から上は60代までの方々が、上橋さんの楽しい話を堪能しました。人気の「守り人シリーズ」を執筆するに至る上橋さんの育った環境や出来事など。小さいころは、身体が小さく弱い子だったが、格闘技は好き（今でも）とか。おばあちゃんから、よく昔話を聞いていた。幼くて言葉の意味はよくわからなかったけれど、心にしみ込んで状況が浮かぶものだった。本の虫だった少女が中学生になり、マンガと出会い、人生の空しさに悩み、作家として認められるようになるまで、そして、現在の…。お話を伺うと大変忙しい日々を送っていらっしゃるようです。次回作の時期を質問されると、“気長に待っててください”とのこと。講演会のお話をしている間、終始笑顔の上橋さん。最後に、リクエストに応じて著作本を持参した方へ、サインもしていただきました。

## 読書の秋におすすめの本

あんなに暑かった夏も去って、ようやく秋の気配がする今日この頃。ゆったりと読書をするのに最適な気候になりました。今年の上半期の話題になった本の中からいくつかご紹介します。

### 「コトバのチカラ」

日本民間放送連盟ラジオ委員会編

(PHP研究所)



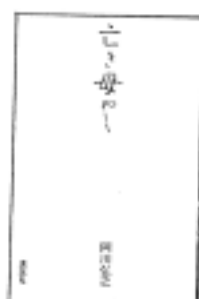
「家族」「人生」「自分」をテーマに、集められた心暖まる言葉の数々が胸に響く。民放ラジオ「コトバのチカラ」キャンペーンに集まった応募

作品の中から、心を動かされ、勇気をもらった65編を選び、まとめたもの。

### 「亡き母や」

阿川 弘之 著

(講談社)



「齢をとるにつれ、自分の癪癪持ちで短気な、場合によつて火のついたやうになる性癖が、独自の個性でもなんでもなく、単に亡母の遺伝子をそっくり受け継いでゐるだけ〜」戦災で遺品

もなく幸寿を過ぎ、薄れゆく記憶や、情報の断片を頼りに亡き母の生涯を辿り直す連作物語。

### 「旅のヒント」

五木 寛之著

(東京書籍)



“旅をするには、まず健康であること”から始まり道具の選び方、泥棒とのつきあい方まで、旅に生まれ、旅に生きた著者。

「自分にとって旅とは人生そのもの」と言う。旅は自分で作るもの。どうぞよい旅を・・・

BON VOYAGE!

### 「週末出家ガイド」

拓人社編

(双葉社)



週末、いつもと違う体験をしてみませんか。日常の少しの時間、お寺を訪ねて“修行”なんてどうでしょう。写経や座禅・巡礼・精進料理体験など。参加の案内とともに、家庭で行う時

のアドバイスや宿坊ガイド情報もある。“体験”することでちょっと違った世界が見つかるかもしれません。

### 「フジ子・ヘミング真実の軌跡」

喜多 麗子著

(角川書店)



2003年秋に放送されたドラマ「フジ子・ヘミングの軌跡」の取材を元にプロデューサーが書きおろした評伝。

音楽への情熱、貧困・差別・恋……。ドラマで描ききれなかった奇跡のピアニスト、フジ子・ヘミングの半生を描く。

### 「親になる技術」

正高 信男著

(PHP研究所)



昔は、誰もが、子どもを持てば自然と親になれました。でも今は親になるにも技術が必要なんです。

「失敗しないしつけの方法」

など、参考にしたい子育ての方法が満載。子育て中の人、これから親になる人におすすめの1冊。

### 「上司は思いつきでものを言う」

橋本 治著

(集英社)



景気のいい時は、上司の「思いつき」をこなそうが、こなすまいが大きな問題にならず、会社は利益を得られた。だが一向に景気は

回復しない。現場と隔絶しているが故に起こる「上司の勝手な思いつき」に、あなたはどうか対処すべきか。

### 「頭がいい人、悪い人の話し方」

樋口 裕一著

(PHP 研究所)



さまざまなタイプの人の話し方について紹介している。各項目毎に「周囲の人の対策」と「自覚するポイント」が付記されていて参考になる。

作者は、文章指導のプロ。その豊富な経験から文章と会話は共通部分が多い事に気づく。愚かな話し方をしないための1冊。

### 「少年A 矯正 2500 日全記録」

草薙 厚子著 (文芸春秋社)



7年前、社会を震撼させた「神戸連続児童殺傷事件」。まだ多くの方の記憶に残っているだろう。この本はその少年Aの矯正の記録である。少年院のスタッフの方が、精神科の医師が、多くの方が、文字通り手探りで治療を行っている姿が淡々と描かれている。「本当に病気は治ったのだろうか。」

多分、多くの方が抱くはずの疑問。社会人として或いは親として、受け取る答えは、きっと1つではないだろう。

## 「我孫子市民図書館利用者懇談会」を開催します！

昨年から、始めました利用者懇談会。今年も下記の日程で開催致します。

より親しみやすく、利用しやすい図書館にするために、皆さまのご意見をお聞かせください。

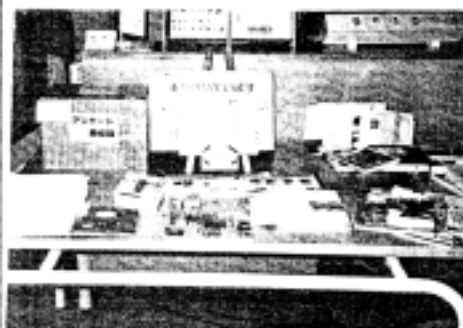
日時：平成16年 11月 27日(土) 午前9時30分から11時30分まで

場所：生涯学習センターアビスタ ミニホール

定員：70名 \* 事前の申込みは不要。当日、時間までにお越しください。

内容：・渥美 省一センター長の講演「生涯学習と図書館」と 利用者懇談会

お問い合わせ：市民図書館 7184-1110



### 「汚破損本」の展示について

切り抜かれたり、傍線・落書きなどで図書館資料として使用できなくなった本の展示を、各分館及び市民図書館(アビスタ内)で行いました。

市民の貴重な財産である資料を永く維持するためにも、ぜひ汚したり破損したりすることのないように、お願いします。

アンケート調査でも「本がかわいそう」「マナーを守ろう」という意見が多く寄せられました。

汚破損本の展示は毎年行っていますが、汚破損がなくなり、こういった展示をしなくてもすむように、みんなが切に望んでいます。

最後にアンケート調査にご協力いただきました方に厚く御礼申し上げます  
ご意見を参考に、今後もみんな気持ちよく利用できるよう、利用者の方々への啓蒙活動を行っていきます。

### ～ ほっと・ニュース ～

湖北台分館の出入口へ通じる階段に“手すり”が付きました。小さい子にも手が届くように、少し低めにしています。また、併せて、階段自体も滑らないようにシートを張り直してもらいました。以前より、安全で登りやすくなりました・・・。



### ～ 編集後記 ～

今年も“読書の秋”におすすめの本”を特集しました。今回は、小説類を少なめに選んでみました。何かチャンスがないと、出会わない本もあります。そんな本との出会いになれば・・・。

